

## 平成 16 年度大規模新規研究開発の評価について

## 1. 評価対象

『南極地域観測事業』

【文部科学省】

概算要求額：114億円

全体計画：未定（継続事業のため）

南極観測船「しらせ」の後継船の建造（総額 399 億円）及び現有ヘリコプターの後継機の調達（総額 120 億円）が新たに予算要求されたのに際し、国の科学技術政策を総合的かつ計画的に推進する観点から、南極地域観測事業の評価を行う。

評価においては、後継船建造及び後継機調達に関する計画はもとより、これまでの南極地域観測事業の成果及び今後の展開について、その必要性、効率性、有効性等を検討する。

## 2. 調査・検討項目

評価検討会においては、以下の項目について調査・検討する。

## A. 科学技術上の意義

当該研究開発の科学技術上の目的・意義・効果。

## B. 社会・経済上の意義

当該研究開発の社会・経済上の目的・意義・効果。

## C. 国際関係上の意義

国際社会における貢献・役割分担、外交政策との整合性、及び国益上の意義・効果。

## D. 計画の妥当性

目標・期間・資金・体制・人材や安全・環境・文化・倫理面などからの妥当性。

#### E. 成果、運営、達成度等

投入資源に対する成果、運営の効率性、及び目標の達成度等。評価結果の反映状況の確認等。

ただし、E については、新規研究開発であることから、その内容を考慮。

### 3. 検討スケジュール

- 9月11日(木) 評価専門調査会  
評価対象、担当議員・委員、進め方を確認
  
- 9月22日(月) 第1回評価検討会  
・ヒアリング、追加質問と論点候補の抽出  
追加質問を回収し府省へ対応を発注
  
- 10月6日(月) 第2回評価検討会  
・追加ヒアリング、論点整理  
評価コメントを回収し中間報告原案を作成
  
- 10月15日(水) 評価専門調査会  
・中間報告(案)の検討
  
- 10月～11月 総合科学技術会議  
・中間報告に基づく審議
  
- 11月11日(火) 必要に応じ第3回評価検討会
  
- 11月～12月 評価専門調査会  
・評価報告書(案)の検討
  
- 12月 総合科学技術会議  
・評価報告書(案)に基づく審議・結論